

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	研究計画法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	濱口 幹太	実務経験と その関連資格	人間環境学専攻前期博士課程修了、健康運動指導士、中高保健体育第一種教員免許			
《授業科目における学習内容》						
卒業論文を作成するためには、現在の研究の到達の状況を知るために文献調査にあたり、実験や実習を行うことで証拠を集め、これらの内容を考察した上で、文章として作成する必要がある。このような論文作成の過程で論理的思考力や客観的に物事を見る力、また継続・韌性を高めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点(20%)・平常点(10%)・発表(70%)から授業の理解度を総合で示す。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
健康・スポーツ科学のための研究方法(杏林書院・出村慎一) 配布資料						
《授業外における学習方法》						
卒業研究の課題に関する研究をオンライン上で検索し、要点をまとめる練習を毎週継続してください。						
《履修に当たっての留意点》						
CiNiiでの日本語論文のみならず、PubMedでの英語論文を通して最新情報の収集にも努めて下さい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	問題の具体化と手順を理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。	
		各コマにおける授業予定	ガイダンス 研究にとりかかる(1)			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究を実施するうえでの問題点とその解決方法を理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。	
		各コマにおける授業予定	研究にとりかかる(2)			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究テーマの決定から論文投稿までを理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。	
		各コマにおける授業予定	研究にとりかかる(3)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	問題点(仮説)を明らかにするための測定方法を理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。	
		各コマにおける授業予定	研究計画を立てる際の注意点(1)			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	問題点(仮説)を明らかにするための測定方法を理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。	
		各コマにおける授業予定	研究計画を立てる際の注意点(2)			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 研究における倫理の問題を理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
	各コマにおける授業予定	研究計画を立てる際の注意点(3)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 因子の整理と方法を理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
	各コマにおける授業予定	調査研究の計画(1)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 データの取り方を理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
	各コマにおける授業予定	調査研究の計画(2)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 実験計画の手順を理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
	各コマにおける授業予定	調査研究の計画(2)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 先行研究検索し理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
	各コマにおける授業予定	先行研究の検索(1)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 先行研究検索し理解する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
	各コマにおける授業予定	先行研究の検索(2)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの先行研究を理解し、発表する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
	各コマにおける授業予定	論文抄読会(1)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの先行研究を理解し、発表する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
	各コマにおける授業予定	論文抄読会(2)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの先行研究を理解し、発表する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
	各コマにおける授業予定	論文抄読会(3)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの先行研究を理解し、発表する。	配布資料	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
	各コマにおける授業予定	論文抄読会(4)		